

当社の供給体制再構築について

2012年8月28日

常務執行役員 桐山 浩

概要

- ・ 2013年7月 坂出製油所を閉鎖
オイルターミナル等として事業を継続

決定に至った背景、検討のポイント

● 事業環境認識 :

- ・ 想定以上の国内の需要減退(ガソリン、LSC重油)
- ・ 海外製油所の新設による輸出市場の競争激化
→過剰能力の解消とコスト削減による競争力強化が喫緊の課題

● 検討のポイント :

- ・ 需要構造の変化と二次装置構成
- ・ 消費地との地理的關係
- ・ コンビナート会社との連携状況
- ・ 企業としての地域経済への影響

● 3製油所体制確立のための前提条件

- ・ 千葉製油所の再稼働と安全・安定操業の実現

目的

● 製油所競争力の強化

- ・ コスト削減 100億円／年
- ・ 高稼働運用 76→90%超(SDベース)
- ・ 装置構成の最適化 29→32%(二次装置装備率*)

● 国内石油製品需給バランスの適正化

- ・ 適正な国内石油製品マージンを享受
- ・ 在庫の低減

効率的な供給体制の構築

*二次装備率=(流動接触分解装置+コーカー+水素化分解装置)÷トッパー能力

Copyright © 2012 COSMO OIL CO.,LTD. All Rights Reserved.

見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。